

全体評価

項目別評価 大項目

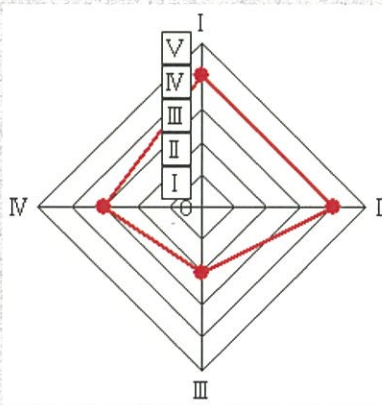
H29年度評価

全体として、中期目標・中期計画の達成に向けて概ね順調であると認められるが、「**最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成**」については、なお一層の努力が必要

大項目4項目のうち、
○2項目(「I 患者にとって最適な医療の提供」「II 県民の健康維持への貢献」)は、中期目標・中期計画の達成に向けて「**順調に進んでいる**」と評価

○1項目(「III 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成」)は、職員満足度の低下が見られ、課題の把握・検証を行い改善を図る必要があることから、「**やや遅れている**」と評価

○1項目(「IV 自立した経営」)は、経常収支が黒字化するなど経営改善が見られたが、奈良県立病院機構改革プランに基づき、引き続き各取組を進める必要があること、また、職員の中期目標・中期計画の理解度の低下が見られ、改善を図る必要があることから、「**概ね順調に進んでいる**」と評価



H29年度評価

I 患者にとって最適な医療の提供

IV 中期目標・中期計画の達成に向けて**順調に進んでいる**
中項目10項目中、**9項目をA、1項目をB**としたことを勧奨

II 県民の健康維持への貢献

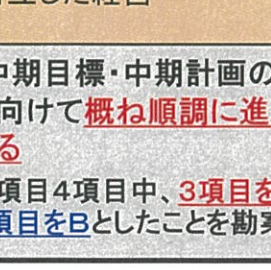
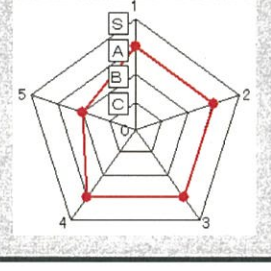
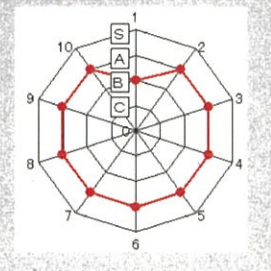
IV 中期目標・中期計画の達成に向けて**順調に進んでいる**
中項目5項目中、**4項目をA、1項目をB**としたことを勧奨

III 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成

II 中期目標・中期計画の達成のためには**やや遅れている**
中項目2項目中、**1項目をA、1項目をB**としたことを勧奨

IV 自立した経営

III 中期目標・中期計画の達成に向けて**概ね順調に進んでいる**
中項目4項目中、**3項目をA、1項目をB**としたことを勧奨



中項目	取組項目	自己評価		県評価	考慮した主な目標指標・取組
		H29	H29		
1 全職員が一体となって中期目標を達成	① 中期目標の達成に向けて、全職員が一体となって取り組む組織文化を醸成	B	B	B	・職員の中期目標・中期計画の 理解度が低下 ($\text{28}66\% \rightarrow \text{29}53\%$)
2 患者が満足する医療サービスの提供	① ホスピタリティマインドの向上 ③ 患者が治療に専念できる環境の充実 ② 患者に対する適切な医療情報の提供	A	A	A	・患者満足度「 病院への満足 」が 上昇(過去最高) (入院 $\text{28}92\% \rightarrow \text{29}96\%$ 、外来 $\text{28}75\% \rightarrow \text{29}79\%$)
3 断らない救急の実現	① 受入体制の構築 ③ 院内後方支援・連携体制の整備 ② 人材の確保、育成	S	A	A	・救急車搬送受入率が 総合で上昇(県内最高) (総合 $\text{28}85.8\% \rightarrow \text{29}93.3\%$ 、西和 $\text{28}74.9\% \rightarrow \text{29}73.2\%$)
4 質の高いがん医療	① 手術療法、放射線療法、化学療法などのがんの集学的治療の提供 ③ 地域がん診療連携拠点病院としての機能の発揮 ② 早期がんだけでなく他病院で診ることができない進行がんにも対応 ④ 人材の確保、育成	A	A	A	・(総合)院内がん登録患者数(年間)が 増加 ($\text{28}1,233 \text{人} \rightarrow \text{29}1,272 \text{人}$) ・(総合) 血液・腫瘍血管内科を新設 (H30.1~)等
5 周産期医療体制の強化	① 24時間365日のハイリスク妊産婦・新生児の搬送受入を可能とする体制の強化 ② 西和医療センターにおける産科の再開	A	A	A	・ハイリスク妊婦及び新生児の 県内搬送率が上昇 (妊婦 $\text{28}90.4\% \rightarrow \text{29}97.6\%$ 、新生児 $\text{28}98.0\% \rightarrow \text{29}99.3\%$)
6 小児医療体制の整備	① 小児救急機能の強化 ③ 地域の他病院との連携の強化 ② 人材の確保、育成	A	A	A	・小児患者の救急搬送受入率が 上昇 (総合 $\text{28}89.8\% \rightarrow \text{29}93.9\%$ 、西和 $\text{28}86.5\% \rightarrow \text{29}89.4\%$)
7 リハビリテーション機能の充実	① 急性期については総合・西和において、回復期にかけてはリハにおいて役割を担当 ② 発達障害児に対する感覚統合療法の充実 ③ 障害児(者)に対する外科的治療の充実	A	A	A	・(リハ) 在宅復帰率が上昇 ($\text{28}84.2\% \rightarrow \text{29}88.6\%$) ・ 運動器リハ実施件数が増加 ($\text{28}78,607 \text{件} \rightarrow \text{29}82,564 \text{件}$)
8 高齢者を対象とした医療体制の整備	① 【運動器】法人内の病院における役割分担 ③ 【糖尿病】人材の確保、育成 ② 【糖尿病】チーム医療の活動強化 ④ 【糖尿病】地域の医療機関へのサポート	A	A	A	・(西和)人工関節センターを 新設 ・(リハ)ロコモシンドローム公開講座を開催(3回)
9 医療安全・院内感染の防止	① 法人における医療安全管理体制の確立 ② 3病院合同の事例検討発表会の実施	A	A	A	・患者満足度「 安心して医療を受けられたか 」が 維持・上昇 (入院 $\text{28}93\% \rightarrow \text{29}92\%$ 、外来 $\text{28}79\% \rightarrow \text{29}82\%$)
10 新病院整備の推進	① 新総合医療センターの整備 ③ 看護専門学校統合校の整備 ② 新西和医療センターの整備等 ④ 3病院共通の電子カルテシステム整備	A	A	A	・ 新総合医療センターがH29.12竣工 ・ 看護専門学校統合校がH29.4開校
1 県内の医療機関との連携・協力体制の充実	① 地域医療支援病院としての機能強化 ③ 地域包括支援センターとの連携強化 ② 退院調整会議の充実	A	A	A	・紹介率・逆紹介率は、 総合は維持 、西和は微減(紹介率:総合 $\text{28}59.8\% \rightarrow \text{29}60.2\%$ 、西和 $\text{28}61.0\% \rightarrow \text{58.7\%}$) (逆紹介率:総合 $\text{28}105.2\% \rightarrow \text{29}105.1\%$ 、西和 $\text{28}86.4\% \rightarrow \text{82.7\%}$) ・退院調整会議の開催回数は 増加 ($\text{28}4,590 \text{回} \rightarrow \text{29}5,368 \text{回}$)
2 県内の医療レベル向上に向けた支援	① 教育研修センターにおいて県内の医療機関に開放した研修の実施 ② 県内の医療機関への施設・設備の開放	A	A	A	・ 県内医療機関の医療従事者向け研修を本格実施 (受講者202名)
3 災害医療体制の強化	① 災害対応体制の充実 ③ 災害発生時における県との円滑な連携 ② 人材の育成 ④ 新病院における感染症病床の整備、受入体制の構築	A	A	A	・災害訓練を実施(29 総合2回、西和3回、リハ2回) ・ DMAT隊員は目標を上回る配置 ($\text{29}33 \text{人}$ (目標20人))
4 県民への医療・健康情報の提供	① 臨床指標を含む情報の公開・発信 ③ 公開講座の実施 ② 広報担当者の配置	A	A	A	・ 県民向け公開講座回数(7回)は目標(6回)を上回る
5 県が実施する健康長寿のまちづくりへの支援	① 平松周辺地域でのまちづくりへの参画 ② 西和地域でのまちづくりへの参画	B	B	B	・(西和)在宅療養支援室を設置・運用 ・ マイ健康カードの導入は具体的な検討に至らず
1 最高レベルの医と心をもった人材の確保、育成	① ホスピタリティマインド醸成研修の実施 ② ワークライフバランスの実現	B	B	B	・患者満足度「 患者の気持ちを理解しようとしたか 」が 概ね維持 (入院 $\text{28}94\% \rightarrow \text{29}91\%$ 、外来 $\text{28}75\% \rightarrow \text{29}79\%$) ・職員満足度「 仕事のやりがい 」「 WLB配慮 」が 低下 (仕事やりがい $\text{28}64\% \rightarrow \text{29}46\%$ 、WLB $\text{28}65\% \rightarrow \text{29}41\%$)
2 最高レベルの医と心をもった人材の確保、育成	① 教育研修センターの設置と充実 ② 看護専門学校の教育内容、教育体制の充実	A	A	A	・ 専門医数、認定看護師数が増加 (専門医 $\text{28}133 \rightarrow \text{29}137 \text{人}$ 、認定看護 $\text{28}23 \rightarrow \text{29}26 \text{人}$)
1 権限と責任を明確にしたガバナンス体制の確立	① 経営企画機能の強化 ② 中期計画・年次計画の適正な実施	A	A	A	・3病院合同会議(10部門)、病院毎の幹部会議等を開催 ・県主催の運営検討会議を通じ、経営分析・戦略を検討・議論
2 経営に対する責任感をもって業務改善に取り組む組織文化の醸成	① 組織アイデンティティ・ロイヤリティの確立 ③ 成功を認め、讃える組織文化の形成 ② 法人に関する情報の発信・共有による経営参画意識の向上支援	B	B	B	・職員の中期目標・中期計画の 理解度が低下 ($\text{28}66\% \rightarrow \text{29}53\%$)
3 医療制度等の変化への迅速・柔軟な対応と自立した財務運営	① 経常収支比率を高い水準で維持 ② 内部留保を確保	A	A	A	・ 経常収支比率が上昇 ($\text{28}95.8\% \rightarrow \text{29}102.9\%$) ・H29は設立後初の 経常収支黒字化 を果たしたが、繰越欠損金109.8億円等、 引き続き厳しい財政状況
4 奈良県立病院機構改革プランを着実に実行	① 民間的経営手法の導入 ④ 収入増加・確保対策の実施 ② 事業規模・事業形態の見直し ⑤ 経営改善に関する他の取組実施 ③ 経費削減・抑制対策の実施 ⑥ 再編・ネットワーク化の検討	A	A	A	・経常収支比率が 上昇 ($\text{28}95.8\% \rightarrow \text{29}102.9\%$) ・ 診療部長を管理職化し、労務管理を強化 ・ 副院長・看護部長を民間採用、職員のプロ化推進

全体評価

項目別評価

大項目

中項目

評価実績	県評価案			自己評価 期間見込	県評価案 期間見込
	H26	H27	H28		

考慮した主な目標指標・取組

中期目標期間(見込)評価

全体として、中期目標の達成状況は概ね良好であると認められるが、「最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成」及び「自立した経営」については、なお一層の努力が必要である。

大項目4項目のうち、
○2項目(「I 患者にとって最適な医療の提供」「II 県民の健康維持への貢献」)は、中期目標の達成状況が「良好である」と評価

○「III 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成」は、職員満足度の低下が見られ、課題の把握・検証を行い改善を図る必要があることから、「やや不十分である」と評価

○「IV 自立した経営」は、平成29年度は経常収支が黒字化するなど一定の経営改善が見られたが、奈良県立病院機構改革プランに基づき、引き続き各取組を進める必要があること、また、職員の中期目標・中期計画の理解度の低下が見られ、改善を図る必要があることから、「やや不十分である」と評価

I 患者にとって最適な医療の提供

中期目標期間(見込)評価

IV 中期目標の達成状況が良好である

中項目10項目中、9項目をA、1項目をBとしたことを勧案

II 県民の健康維持への貢献

IV 中期目標の達成状況が良好である

中項目5項目中、4項目をA、1項目をBとしたことを勧案

III 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成

II 中期目標の達成状況がやや不十分である

中項目2項目中、1項目をA、1項目をBとしたことを勧案

IV 自立した経営

II 中期目標の達成状況がやや不十分である

中項目4項目中、2項目をA、2項目をBとしたことを勧案

1	全職員が一体となって中期目標を達成	B	B	B	B	B	B
2	患者が満足する医療サービスの提供	A	A	A	A	A	A
3	断らない救急の実現	A	A	A	A	S	A
4	質の高いがん医療	A	A	A	A	A	A
5	周産期医療体制の強化	S	A	A	A	A	A
6	小児医療体制の整備	A	A	A	A	A	A
7	リハビリテーション機能の充実	A	A	A	A	A	A
8	高齢者を対象とした医療体制の整備	A	B	A	A	A	A
9	医療安全・院内感染の防止	A	A	A	A	A	A
10	新病院整備の推進	B	B	B	A	A	A

1	県内の医療機関との連携・協力体制の充実	A	A	A	A	A	A
2	県内の医療レベル向上に向けた支援	A	A	A	A	A	A
3	災害医療体制の強化	A	A	A	A	A	A
4	県民への医療・健康情報の提供	A	A	A	A	A	A
5	県が実施する健康長寿のまちづくりへの支援	B	B	B	B	B	B

1	最高レベルの医と心をもった人材の確保、育成	A	A	A	B	B	B
2	最高レベルの医と技をもった人材の確保、育成	A	A	A	A	A	A

1	権限と責任を明確にしたガバナンス体制の確立	A	B	A	A	A	A
2	経営に対する責任感をもって業務改善に取り組む組織文化の醸成	B	B	B	B	B	B
3	医療制度等の変化への迅速・柔軟な対応と自立した財務運営	C	C	C	A	B	B
4	奈良県立病院機構改革プランを着実に実行	—	—	—	A	A	A

・職員の中期目標・中期計画の理解度が低下 (2657%→2953%)

・患者満足度「病院への満足」が年々上昇(入院2684%→2996%、外来2671%→2979%)
・各センターに患者支援センター設置。患者満足度調査、患者の声等による意見・要望を共有・対応策反映

・救急車搬送受入率が、総合・西和ともに上昇(総合2682.1%→2993.3%、西和2666.9%→2973.2%)
・(総合)奈良県ドクターヘリの受入体制整備(H29.3～) ・(西和)救急科を開設(H27.4～)

・(総合)院内がん登録患者数(年間)が年々増加(261,068人→291,272人)
・(総合)血液・腫瘍血管内科を新設(H30.1～)、乳腺外科、頭頸部外科、口腔外科を新設(H30.5～)
・(西和)内視鏡室の運用開始(H28.5～)

・ハイリスク妊婦の県内搬送率が上昇(2694.7%→2997.6%)、新生児の県内搬送率は維持(26100→2999.3%)
・(総合)新生児搬送ドクターカーの開始(H26.4)、NICU・GCUの増床とMFICUの新設(H30.5)
・(西和)産科の再開(H27.4)

・小児患者の救急搬送受入率が上昇(総合2691.5%→2993.9%、西和2682.9%→2989.4%)
・(総合)輪番回数の増加(H27.4～)、小児科専用救急ホットライン電話の設置(H29.4～) など

・(リハ)在宅復帰率が上昇(2682.52%→2988.6%)
・運動器リハ実施件数が増加(2650,996件→2982,564件)

・(総合)糖尿病の専門科(糖尿病・内分泌内科)をH30.4新設。・(西和)人工関節センターをH29.4新設
・(リハ)ロコモシンドローム公開講座を毎年度継続して開催(293回)

・患者満足度「安心して医療を受けられたか」が年々上昇(入院2689%→2992%、外来2674%→2982%)

・新総合医療センターがH29.12竣工、H30.5開院
・看護専門学校統合校がH28.12竣工、H29.4開校

・紹介率は、総合・西和ともに上昇(総合2654.5%→2960.2%、西和2650.9%→58.7%)
・逆紹介率は、総合は上昇。西和は低下し更なる地域医療連携が必要(総合2696.9%→29105.1%、西和26111.0%→2982.7%)
・退院調整会議の開催回数は年々増加(295,368回)

・県内医療機関の医療従事者向け研修をH29年度から本格実施(受講者29202名)
・総合・西和では、地域医療機関との治療施設・医療機器等の共同利用を実施

・災害訓練を毎年度継続して実施(29総合2回、西和3回、リハ2回)
・DMAT隊員は目標人数を上回る配置(2933人(目標20人))

・県民向け公開講座を継続開催(開催回数297回(目標6回))
・各センターのホームページで臨床指標(クリニカルインディケーター)を公開するなど、広報・情報発信

・総合では、地域包括支援センター圏域ごとの多職種連携会コアメンバーに加入・研修会等参加
・西和では、西和メディケア・フォーラムを設立・地域事例検討会開催、在宅療養支援室の設置・運用
・マイ健康カードの導入は具体的な検討に至らず

・患者満足度「患者の気持ちを理解しようとしたか」が横ばい(入院2690%→2991%、外来2676%→2979%)
・職員満足度「仕事のやりがい」「WLB配慮」が、60%前後で推移していたが、H29年度はいずれも50%を下回った。(仕事やりがい2662%→2946%、WLB2656%→2941%)

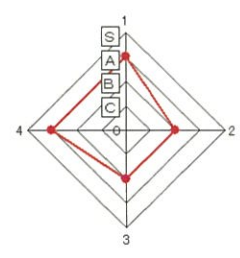
・後期研修医数、専門医数、認定看護師数が増加
(後期研修医2618人→2931人、専門医26131人→29137人、認定看護師2617人→2926人)

・平成27年度から各センターの病院長が理事に就任し、現場意見をより反映する体制を整備
・3病院合同会議・幹部会議等開催し、病院経営に係る重要事項の決定と情報共有・周知徹底

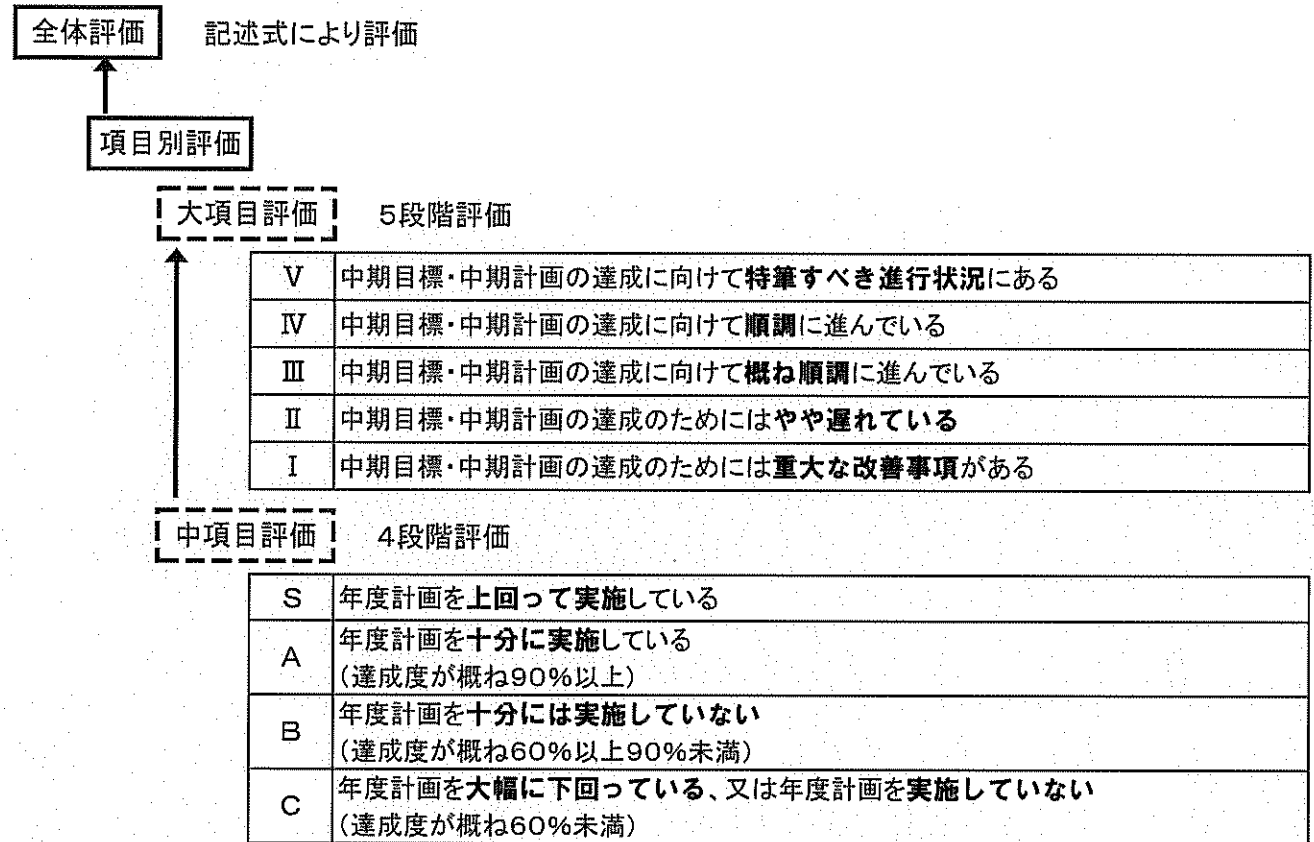
・職員の中期目標・中期計画の理解度が低下(2657%→2766%→2866%→2953%)

・経常収支比率が年々上昇(2690.4%→29102.9%)
・H29は設立後初の経常収支黒字化を果たしたが、繰越欠損金109.8億円等、引き続き厳しい財政状況

・法人設立以降、経常収支比率が年々上昇(2690.4%→29102.9%)
・病床稼働率の向上や総合での運用病床の段階的増等による収益増の取組とともに、医薬品・診療材料等のコスト削減や給与見直し等により費用抑制に取り組んだ。



■平成29年度の業務実績に関する評価



■中期目標期間終了時に見込まれる中期目標期間の業務実績に関する評価

